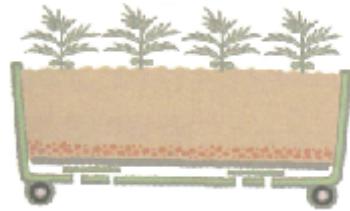


## プランターに植える方法

### ゴーヤの場合



株間（苗と苗の間）を  
20 ㎝くらいあけて植え  
つけます。

### アサガオの場合



株間（苗と苗の間）を  
15 ㎝くらいあけて植え  
つけます。

- ① 植えつける 20 日前ほどに、pH調整した培養土に、<sup>もとごとえ</sup>元肥（配合肥料または緩効性化学肥料：量は肥料袋に記載されている量を守ることを）を施しておきます。
- ② 上記の苗数を株間を正確にとって植えつけます。
- ③ 一つのプランターにヘチマとゴーヤというように複数の品種を定植すると片方の生育が悪くなる場合があるので、1プランター=1種類を守りましょう。
- ④ 定植したら、プランターの底から水がでてくるまで、たっぷり水やりをしましょう。
- ⑤ 植えつけから開花・結実までの水やりは最も大切です。夏の間、ヘチマ、ゴーヤは朝夕 2 回、アサガオは朝 1 回たっぷりあげてください。



発行：所沢市環境クリーン部みどり自然課  
所沢市並木一丁目 1 番地の 1  
TEL：04-2998-9373 FAX：04-2998-9195  
E-mail：a9373@city.tokorozawa.lg.jp

協力：NPO日本コミュニティーガーデニング協会

※注意事項 みどりのカーテンの作成にあたりガス管の損傷事故が発生しています。  
ガス管の位置を確認してからみどりのカーテンを作成してください。

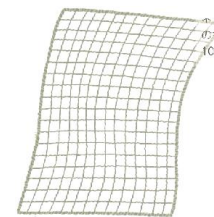
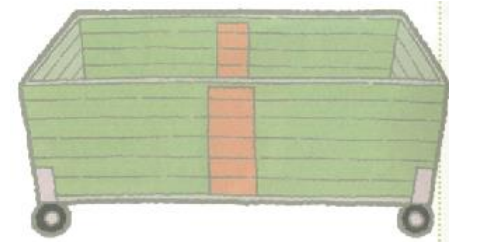
# みどりのカーテン をつくろう！



## みどりのカーテンに必要な主なもの

### 1. プランター

大型保水性プランター（要領 125 ㎝以上）が必要です。  
特にヘチマの場合はツルの長さが 10m にもなるので、保水力のある大型プランターを用意します。



### 2. ネット

ネットは設置するスペースにもよりますが、これも大型のものが良いでしょう。特に大切なのがマス目の大きさが 10～15 cm × 10～15 cm 位が、ツルがよく張りつき、通風も良いです。

### 3. 培養土・配合肥料

### 4. 栽培用具

移植ゴテ、ジョウロなど



### 5. タネまたは苗

ツル性植物のタネまたは苗は、病原菌のついていないものを選んで下さい。大手の種苗会社や園芸店で購入することをお勧めします。



ヘチマ

- 別名：イトウリ
- 分類：ウリ科ヘチマ属 1 年草
- 原産地：熱帯アジア
- 発芽・生育適温：25～30℃

ゴーヤ

- 別名：ツルレイシ、ニガウリ
- 分類：ウリ科ツルレイシ属 1 年草
- 原産地：インド
- 発芽・生育適温：25～30℃



アサガオ

- 分類：ヒルガオ科サツマイモ属 1 年草
- 原産地：熱帯アジア説が有力で、日本には 1200 年ほど前に、遣唐使により中国から薬として渡来した。
- 発芽・生育適温：25℃前後



①タネの入手

ヘチマとゴーヤのタネは園芸店で手に入ります。

②タネまき

発芽適温が 25℃以上なので東京だと 5 月中旬以降がタネまきに適しています。3 号ビニールポット（直径 9 ㍍）にタネまき用土を入れてタネを 3 粒まきます。5 月のはじめですと霜がおりて枯れる危険があるのでポリフィルムなどのキャップをしておくのも効果的です。爪切りややすりで少し傷つけてから、まく前夜に水洗いをしぬらした新聞紙にくるんで、20℃以上の温度にしておくと発芽率が上がり、生育が良くなります。

③定植（植えつけ）

子葉が出て、本葉が 2～3 枚になったら、茎が太く、葉の色つやがよく厚みのある苗を残し他の苗は抜き取ります。本葉 5～6 枚になったらプランターに定植します。

④施肥

植えつけてから、1 週間ほどして根がしっかり張ったら、月に 1～2 回肥料をあげてください。

⑤水やり

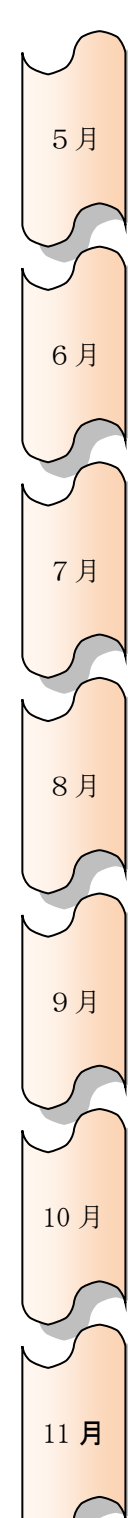
夏休みの間の水やりはとても大切です。できれば朝と夕方の 2 回、たっぷり水やりをして下さい。

⑥果実の収穫

ゴーヤは 7 月後半頃から、ヘチマは 9 月に入ると果実が熟し収穫できます。

⑦片づけ

葉が黄色くなってきたら、緑のカーテンは終わりです。ネットから葉や茎をはずし、来年に備えましょう。



①タネの入手

アサガオは園芸店で手に入ります。いろいろな種類がありますが、みどりのカーテンには、葉が良く茂る「セイヨウアサガオ」がおすすめです。

②タネまき

アサガオは発芽に高温を必要とするので、5 月に入って暖かくなってからタネまきをします。3 号ビニールポット（直径 9 ㍍）にタネまき用土を入れてタネを 3 粒まきます。爪切りややすりで少し傷つけてから、まく前夜に水洗いをしぬらした新聞紙にくるんで、20℃以上の温度にしておくと発芽率が上がり、生育が良くなります。

③定植（植えつけ）

双葉がでたら、ポット内の苗で茎が太く、葉が厚みのあるものを残し、他は抜き取ります。残した苗の本葉が 4～5 枚になったら、プランターに植えつけます。

④施肥

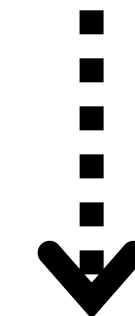
植えつけて根がしっかり張ったら、1000 倍の液肥を 1 週間に一回施します。

⑤水やり

アサガオは、ヘチマやゴーヤと違って乾かし気味に水やりします。表面の土が乾いてから、たっぷり水やりして下さい。

⑥開花

アサガオは短日植物なので、夏至を過ぎて日が短くなると開花します。セイヨウアサガオの一種のオーシャンブルーは普通のアサガオより短日性が強く、開花は 8 月下旬ですが、夏の間葉をたくさん茂らせるので、みどりのカーテンにむいています。



⑦片づけ

オーシャンブルーは暖かければ 11 月になっても花を咲かせます。葉が茶色になったら、ネットからはずし片づけましょう。

